

主な記事

ステージアップ

Stage Up

- ・地名を調べ住む町を大切に
心を育てる 川崎地名研究会
- ・自然とともに暮らす豊かさを体験
くすのき自然クラブ
- ・【財団情報】ボランティア養成・派遣と
シニア講演会講師紹介



詳細・他記事等

- ◆ 施設めぐり
 - ・川崎市環境総合研究所
 - ・川崎市聴覚障害者情報文化センター
 - ・かわさき健康づくりセンター
- ◆ 情報ポケット
 - ・秋の☆キラリ文化教室のご案内
 - ・お楽しみコーナークイズに答えよう!
- ◆ お知らせ
 - ・2019年度 後期地域協働講座
 - ・社会人学級受講者募集

◀ 東高根森林公園
撮影日
2018年7月13日

<インターネット川崎ガイド>シリーズ⑨ 東高根森林公園緑陰

1978(S53)年に開園された県立東高根森林公園には、「古代芝生・花木・ケヤキ・自然観察」の各広場や、湿性の「野草・樹林・花園」ゾーン、古代植物園やユリ園・シラカシ林、クヌギ・コナラ林など自然豊かな公園として大勢の市民に利用されています。1971(S46)年12月、古代芝生広場全域の地下にある竪穴住居跡を東高根遺跡として県指定史跡に、また、シラカシ林を県指定天然記念物に指定し保護しています。

【インターネット川崎ガイドでは、川崎市全域の公共施設、観光・散策スポット等の写真を掲載しており、それら著作権フリーの写真約10,000件を公開しています】

インターネット川崎ガイド

検索



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。



地名を調べ住む町を大切にす 心を育てる 川崎地名研究会

川崎地名研究会発足の経緯

川崎地名研究会(以降「同会」と略します)は、川崎市の地名及び関連諸地域の地名を研究、記録、保存することを目的に、1983(S58)年10月に発足しました。(2019年5月現在、会員60名)

同会は、1981(S56)年に設立された日本地名研究所(事務局は川崎市高津区)と一緒に川崎市の地名調査や川崎市域の地名だけにとらわれず歴史や文化の掘り起こしなどをしています。

1991(H3)年に「川崎の町名」、2004(H16)年に川崎市制80周年記念「川崎地名辞典上・下」の発刊に協力してきました。2011(H23)年には二ヶ領用水竣工(しゅんこう)400年プロジェクトに参加し、「二ヶ領用水川崎掘七堰」の調査報告と、「二ヶ領用水知絵図(マップ・年表)」改訂作業チームに参加し、約2年間の成果を発表しました。



▲ 菊地 恒雄 会長

同会の諸活動

同会の菊地恒雄会長は、役員や運営委員さんと協力し会員のみなさんの情報を大切にしながら、全国各地の名刹や会員の故郷の地名に関する情報などにも視点をあて活動計画をたてています。主な活動は次の通りです。

①「例会」

毎月第2土曜日(原則)に開催し、川崎の歴史や文化などに造詣の深い方たちを講師に招いたり、会員自らが日々調査や聞き取りで調べたことを報告したりしています。また、親睦を兼ねた研修旅行も行っています。



▲ 秩父研修旅行・下山田棕神社

②「運営委員会」奇数月の第2木曜日に開催しています。

③「歴史部会」

歴史部会は、古文書などを読んでいます。毎月第3月曜日の午前中に日本地名研究所内(川崎市生活文化会館4階)で開催しており、どなたでも参加できます。

④「水曜手帳の会」

2016(H28)年6月1日より始まったこの会は、毎月第1水曜日の午後2時か



▲ 井田・福来醤油工場見学

ら中原市民館内のかわさき市民活動センター(フリースペース)で、毎回10名程が参加して開催しています。

⑤会報誌「たちばな」の発行(年2回発行)

現在15号まで発行しています。

⑥「全国地名研究者大会」参加

昨年は出雲大会に参加。今年は、6月15日~16日の第39回遠野大会に参加しました。



▲ 企画展ポスター

川崎市南部の「地名とくらし」 企画展&冊子発刊

今年の2月26日~3月31日、東海道家かわさき宿交流館で、企画展「川崎市南部の『地名とくらし』展」を開催しました。

地名について、「暗渠(あんきょ)となった川跡に残る橋の名前」「街道(東海道)に沿った地名」「消えた町名」「古文書に載る村の名」「川崎市南部の地名」などの項目でパネルを作成して、川崎南部の地名を紹介しました。

会員のみなさんが日頃調査する中で、川崎駅より海の方に向かって「石碑や信号・停留所に、橋の名前がところどころにある」という点に着目してテーマを設定したそうです。明治から大正にかけて、水路が徐々に埋め立てられ、川であったことが忘れられているといいます。

まずは、川崎市南部の地名から、知っていても忘れてしまった橋の名前や昔懐かしい旧町名に光をあてて、往時を思い出していただくかと企画したそうです。



▲ 企画展の準備をする
会員のみなさん

菊地会長は、「川崎の町が大きく発展する中で、町名にも変化が出てきます。町の顔としての町名・地名を知ることは、私たちの住む町を大切にす心を育てる」と話します。当財団で開催している「地域協働講座」の講師も務めていただいています。

今年の2~3月に開催した企画展で紹介したパネルを冊子にまとめ、「川崎市南部の『地名とくらし』」を発刊しました。



▲ 川崎市南部の
「地名とくらし」

■ 問合せ 菊地 恒雄さん TEL 044-812-1106

自然とともに暮らす豊かさを体験 くすのき自然クラブ

こめたいちょう

くすのき自然クラブ(以降「同クラブ」と略します)の神田浩行代表は、「緑のある場所で、子どもたちを野に放し、自然との遊びを楽しんでもらいたい。農生活のゆたかさ、たのしさを都会の親子に味わってもらいたい。」という想いを持ち、2005(H17)年に同クラブを立ち上げました。



▲ 神田 浩行さん

神田さん自身の小学校時代の田植え経験や20年ほど前に参加したキャンプで「環境“共生”」という生き方との出会いなどが、いまの環境教育に関わる仕事に携わるきっかけとなりました。

今年は、市内の6つの幼稚園や保育園の園庭で米作りをしており、幼児たちから「こめたいちょう」として親しまれています。

年間の主なあそび計画

同クラブは、田畑や森・川や海などの自然の中で、親子と一緒に遊んで楽しむ時間を過ごす、自然体験活動をすすめています。



▲ 田植え

主な活動は次の通りです。

◎田んぼあそび

田植え(5月)、
草取り・大豆まき(7月)、
稲刈り(9月)、脱穀(10月)、
収穫祭(11月)



▲ 大豆まき

◎水辺あそび

多摩川干潟あそび(6月)、
葉山磯あそび(6月)、
多摩川ハゼつり(10月)



▲ 磯遊び

◎室内親子活動

わら細工(12月)、
味噌仕込み(1~2月)



▲ 稲刈り

参加した親子からは、「親も稲刈りがほぼ初体験で子ども以上に楽しめた」「シマドジョウをつかまえることができよかった」などたくさん楽しんだ声がありました。

これらの遊びでは、田畑や干潟に暮らす生き物(植物、昆虫、魚類など)たちと出会い、土や水・泥・自然の空間などを通して「みる・きく・かぐ・あじわう・ふれる」という五感を通したプログラムを大切にしています。



▲ 脱穀

近隣小学校での出前授業

神田さんは、米作りで地元の農家さんから指導を受けた事柄や最新の機械や機器(ドローン)を使った米づくりのこと、農家の抱えている課題(就業者高齢化や人手不足)などについて、出前授業の中で小学生へ体験談も含めて伝えています。

同クラブの吹留純子さんは、大豆の魅力に惹かれ、千葉の在来大豆を栽培して、味噌作り・豆腐作りをしており、味噌ソムリエ・豆腐マイスターとして活動しています。自分の子の通う小学校内の観察園で大豆を蒔き、収穫した大豆から「豆腐」や「おからサラダ」を作る出前授業をしています。また、PTAや区主催の社会教育学級で「味噌仕込み」、「豆腐づくり」の講師を務めており、たいへん好評です。



▲ 味噌作り講師の吹留さん

活動してよかったこと・今後の抱負



▲ 農生活と自然を体験する参加者たち

特に田んぼ活動では、活動全体の自由さが子どもたちの工夫や創造性豊かな体験を広げていることが同クラブの魅力であり、そこにひかれて様々な個性をもつ子どもたちとその保護者さんもたのしめる場となっていると、神田さんは話します。

また、「市内での活動を増やし公園や多摩川中流域での自然体験プログラムの開発や大人の自然体験プログラムの開発」「田んぼビジターセンターのような多くの人に田んぼを楽しんでもらえる場作り」など、活動を広げたいと抱負を語ります。

■ 問合せ 代表・神田 浩行 さん

TEL 044-580-3981



▲ ホームページ



事業・講座の紹介

ボランティア養成・派遣とシニア講演会講師紹介



当財団が行う「活動支援事業」では、保育・環境・特別支援・PC、4つの分野でボランティアの養成講座や派遣を行っています。

○保育ボランティア



子どもの無邪気な笑顔に、こちらも元気もらっています。

小森 佐知子さん
(保育ボランティア)

財団主催の講座・スポーツ・文化教室などで、受講者のお子さんをお預かりしてお世話しています。現在20名ほどのメンバー(男性1名含む)が和気あいあいと活動を続けています。財団の活動室(託児室)が主な活動場所です。

保育ボランティア養成講座は、令和2年2月頃に連続講座を予定しています。令和元年12月中旬から募集開始予定。

○環境ボランティア



小学生がイキイキと質問する姿に未来を感じます。

八木 洋一さん
(環境ボランティア)

川崎市内の小学校に出向き、省エネルギーを中心とした環境出前授業を行っています。約20名のメンバーでH30年には44授業を実施しました。白熱灯・蛍光灯・LEDの使用電力の差を手回し発電機で体感するコーナーも大人気。質問コーナーでも意見が飛び交う、活気あふれる授業を行っています。

○PCボランティア



子どもたちの自発的な気づきを引き出すような声掛けを心がけています。

松尾 勝美さん
(PCボランティア・講師)

PC活用授業ボランティアは、H30年で川崎市内小学校の144授業を約40名でサポートしています。プログラミング教育のスタートなど、新しい時代に対応するため、スキルアップ講座なども実施しながら、活躍の場を広げています。

PC ボランティア養成講座は、令和2年1月頃に連続講座を予定しています。令和元年11月中から募集開始予定。

○特別支援ボランティア

最初は不安でしたが、ベテラン先生や先輩のアドバイスに勇気づけられました。

三上 貴久子さん
(特別支援ボランティア)

現在約60名のメンバーが、川崎市内の小中学校で、支援を必要とする子どもたちをサポートしています。年に2回の交流会を設けて、情報交換しながら、それぞれの豊かな人生経験と優しさを生かし、学校現場で活動しています。

○シニア講演会

シニア世代の活力ある活動を支援するため、毎年テーマを変えて講演会を開催しています。

74歳現役弁護士に聞く、

頭脳明晰、活力あふれる先生の
毎日欠かさない習慣とは？

たかゆき

大澤 孝征 氏

364日仕事していた、地検時代

「地検で検事として勤めていた頃は、元旦以外休まない仕事人間だった」という大澤 孝征先生。弁護士への転身後も、ワイドショーなどのコメンテーターや、大学で医事法制的講師、「裁判員裁判制度」等の立ち上げに尽力され、シンポジウム開催・広報映画製作等、幅広い分野でご活躍されてきました。今も、とても70代とは思えぬ若々しさを驚かされます。

50代で正座ができず「老化」と診断され、毎日のスクワットを開始

「転機となったのは50代の時、弁護士の分科会で人間国宝の笛奏者と呼んだところ、演奏を聞いた仲間が感激し“横笛のサークル”を作ることに」。その半年後に大澤先生自らが「舞台上で正座し横笛を披露する、と決まった」が、正座しようとしても加齢のため、膝が曲がらなくなっていることに気づいたそうです。

「半年後には絶対、舞台上でビシッと正座してやる！」と恥をかきたくない一心で、そこから毎日、風呂の中で温めながらストレッチ、朝起きてすぐのスクワットを始めました。その甲斐あって大澤先生は、翌夏ステージで着物姿で正座し、見事に横笛を吹ききったそうです。

運動・笛の練習・俳句が日課に

「なんでも3か月、休みなく続けたら習慣になります。体が覚えて“やらないと気持ち悪い”となったら、これはもう一生続けることができるとしています」と大澤先生。

こうして身に着けた日課は、毎日作る俳句で頭の体操、風呂ではストレッチ、朝は腕立てふせ・スクワット・腹筋など筋トレを30分、横笛の練習も欠かさないといえます。

「横笛も息の続く限り同じ音をずーっと出しながら、最後は美しい音のまま微かな音量で消えていく練習をします。これはロングブレスのトレーニングなんですよね」。

9月10日の講演会では、先生の幅広い人生経験についてさらに何う予定です。どうぞ楽しみに！



弁護士：少年法・家事事件を得意とし、TV等でコメンテーターとして活躍。著書：「元検事が明かす“口の割らせ方”」他多数。

→大澤鷹雪という俳名で「夏木立」を出版

●俳句 紹介●

- ・屋根赤き少年院や夏木立
- ・霾(つちふ)るや 友の破産を 申し立て
- ・書に飽きて 夕餉(ゆうげ)の菜に 大根引く



元・東京地検検事の弁護士が語る TV番組・法廷の人間ドラマ&法律相談

9月10日 火 14:00~16:00(開場13:30)

受講無料・140名様

生涯学習財団HPで
申込フォーム入力→



または

往復はがき
申込

※申込多数の場合は、抽選になります。

問合せ
受付

(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室
平日 9:00~16:30 TEL 044-733-6626
〒211-0064 川崎市中区今井南町28-41
<http://www.kpal.or.jp/>

この講座は、中原市民館が実施している「シニアのための身近なトラブル防止講座」(全5回)の1回目の講座と共催です。全回受講希望の方は、「中原市民館(申込受付・連続講座の実施会場)044-433-7773」へ申し込んでください。

施設めぐり

市内公的施設などの紹介

川崎区

川崎市環境総合研究所

JR川崎駅東口川崎鶴見臨港バス「川03系統」キングスカイフロント
入口下車徒歩4分・京浜急行大師線「小島新田駅」下車徒歩15分
TEL 044-276-9001

国際社会の環境問題の解決に貢献する研究拠点

環境総合研究所は、公害研究所・公害監視センター・環境技術情報センターの3つを統合し、川崎区殿町の川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)内に2013(H25)年に開設しました。



▲ 施設の外観

当研究所は、市内の大気の時常監視・成分分析や、河川などの水質分析を行い、市民のために環境課題を解決する研究を進め、国内外の都市や研究機関、優れた環境技術を有する市内企業などと連携し、川崎のフィールドを活かした環境の総合的な研究に取り組んでいます。また、研究成果を発表する「環境セミナー」や立地を活かした環境学習を多様な主体と連携して実施しています。

～川崎から世界へ～

未来へはばたく環境技術

川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)1階には、川崎の環境技術の歴史などを見学できるアーカイブスペースがあります。

川崎における公害問題の克服に向けた取組や、先進的で優れた取組などをパネルや映像などを通して学ぶことができます。



▲ 1階のアーカイブスペース



▲ パネルとガイダンスタワー

中原区

川崎市聴覚障害者情報文化センター

東急東横線元住吉下車徒歩10分
TEL 044-798-8800 FAX 044-798-8805

市内で唯一の聴覚障害者施設 市内で唯一の手話通訳者・要約筆記者派遣事業所



▲ 施設の外観

川崎市聴覚障害者情報文化センターは、聴覚障害者に必要な情報の提供・文化活動や社会活動等の支援・福祉の増進を図ることを目的に2000

(H12)年1月、中原区井田三舞町にオープンしました。

◆主な事業内容

- ①手話通訳者や要約筆記者の派遣・養成
- ②ろうあ者相談・難聴者相談
- ③字幕・手話通訳付DVDの製作及び貸出
- ④情報機器の貸出

※事前申込で、夜間・休日も通訳派遣ができます。



▲ 貸出用DVDや「目で見るとテレビ」等のあるロビー

◆開館時間

火～土曜日 9:00～21:00
日曜日 9:00～17:00

◆休館日

月曜日・祝祭日・年末年始・その他
臨時休館

※月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休館(日曜日が祝祭日、月曜日が振替休日の場合、翌日の火曜日は開館)

※施設の概要や事業、講座・教室情報、センターだより等は、以下のホームページをご覧ください。

川崎市聴覚障害者情報文化センター

検索

<http://www.joubun.net/>

川崎区

かわさき健康づくりセンター

JR南武支線・京急線八丁畷駅下車徒歩8分 JR南武支線川崎新町駅
下車徒歩5分 市営バス(川40系統)川崎運送前下車徒歩5分
TEL 044-333-3741

市民の生涯にわたる健康づくりを支援



▲ 施設の外観

JR南武支線・京急線八丁畷(はっちょうなわて)駅から徒歩8分、住宅街の一角に健康づくりセンターがあります。

この施設は公益社団法人川崎市医師会が運営しています。市民の生涯にわたる

健康づくりにかかわっており、生活習慣病の予防・改善や介護予防、中高年の健康づくりなど運動面から支援しています。講師指導のもとで参加できる健康体操教室やエアロビクスなどの教室はもちろんのこと、仲間で施設を借りて



▲ 健康体操教室

楽しむこともできます。

施設の外周を巡る200メートルのジョギングコースもあります。

- ◆主な施設 体育館・会議室・フィットネススタジオ・トレーニングルーム・テニスコートなど

- ◆開館日時 火～土曜日 9:00～20:30
日曜日・祝日 9:00～16:30

- ◆休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、12月28日から翌年1月4日までの年末年始



▲ トレーニングルーム



▲ テニスコート

川崎市環境総合研究所

所在地 〒210-0821 川崎市川崎区殿町3丁目25番13号
川崎生命科学・環境研究センター(LiSE) 3階

◆毎年開催している主な環境学習・イベント・セミナー

- 多摩川河口干潟の生きもの観察会
- 多摩川河口の野鳥観察会
- 環境セミナー
- かわさき星空ウォッチング



▲ 干潟の生きもの観察会の様子



◆パンフレット・環境調査資料など

同所から環境に関する調査や資料などの冊子が多数発行されています。

- ・公害研究所年報(1973年～2012年)
- ・環境総合研究所年報(2013年～)
- ・川崎市の大気環境
- ・環境放射能調査報告書
- ・かわさき水辺の生きもの
- ・大切な大気のはなし
- ・「暑さ」についての解説



▲ パンフレット

他多数

※川崎の環境について、絵や写真を豊富に使い、子どもたちにも分かりやすく説明されています。

- ▲ 子ども用パンフレット
- ▲ 大切な大気のはなし
- ▲ 水辺の生きもの

◆開館日時

月～金曜日(祝日、年末年始を除く)8:30～17:15
※ただしアーカイブスペースは 9:00～16:00

◆見学方法

研究所内施設見学：応相談
アーカイブスペース：自由見学

◆ツイッター・フェイスブック

イベントなどの情報を見ることができます。



▲ ツイッター



▲ フェイスブック

2019年 川崎市生涯学習プラザ 秋の☆キラリ文化教室のご案内

講座・教室名	日時・曜日・回数
1 楽しく歌の教室	10/8・15,11/19,12/17・24(火) 13:20～14:50(5回)
2 ワインを気軽に楽しむ	10/23,11/6・20,12/4・18(水) 14:00～15:30(5回)
3 風景写真教室 ～秋の町並み・紅葉を撮る～	11/14・21・28, 12/5・12(木) (実習予備日12/19・26) 14:00～16:00(5回)
4 色えんぴつ画入門	10/21・28,11/18,12/2・16(月) (実習予備日 11/25) 14:00～15:30(5回)
5 メディアカルハーブ& アロマセラピー	10/15・29,11/12・26,12/10(火) 10:00～11:30(5回)
6 切り絵	10/11・25,11/8・22,12/6(火) 10:00～12:00(5回)
7 季節のフラワーデザイン	11/15,12/20(金) 14:00～16:00(2回)

<会場>生涯学習プラザ 他 受講料 4,700円/5回・2,100円/2回、別途教材費、15歳以上の方(ワインは20歳以上)

☆締切：各教室とも9月20日(金)必着

<申込方法>①ハガキ(教室名・住所・氏名・電話番号)

②直接プラザ窓口 ③TEL733-6626 FAX733-6697

☆受講料払込：抽選結果等を9月21日以降に郵送

☆受講応募多数の場合は抽選、人数により中止もあり

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

生涯学習財団文化教室担当



◆お楽しみコーナー Stage Up 229号 クイズに答えよう!



川崎市環境総合研究所では、毎年「環境セミナー」「多摩川河口干潟の生きもの〇〇会」「かわさき星空ウォッチング」などを開催しています。

下の〇にあてはまる言葉を入れてください。

『干潟の生きもの〇〇会』

【応募方法】

①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2019年8月31日(土) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈

(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

E-mail: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆228号のクイズの答え・・・かわさき

2019年度 後期
かわさき市民アカデミー

地域協働講座 受講生募集!

聖マリアンナ医科大学 講師陣による

最新医学を正しく学び、健康で100歳まで生きる

心身ともに自立し、健康的に生活できる期間を意味する「健康寿命」をどのように延ばすか日々研究が進められています。本講座では「健康寿命」を延ばすために最新研究で分かってきた生活習慣や、誰しもが罹患する可能性がある「がん」の新たな治療といわれる免疫療法、さらにゲノム(全遺伝情報)編集技術等について様々な領域の最新研究にアプローチしていきます。

11月12日(火)～12月10日(火)
14:00～15:30 計5回
受講料4,480円 定員70名

市内企業の代表と研究者 ほか

『地域社会に貢献している川崎の会社と人々 その19』

今期で19回目となる人気の講座です。様々な企業・団体等から講師を招き、今回は、プラスチック海洋汚染、AI技術、バーチャルリアリティ、医療、顔認証技術など、様々なテーマで、ものづくり・先端技術・環境・福祉・まちづくり等を学びます。

10月10日(木)～1月30日(木)
13:30～15:00 計10回
受講料8,980円 定員70名

川崎地名研究会会長 菊地 恒雄 ほか

『武蔵小杉界限今昔ものがたり
～歴史散策・古民家カフェ・
そしてまちづくり』

中原街道の宿場町として栄えた小杉の歴史の講義・散策からはじまり、井田小学校郷土資料室生みの親の郷土愛溢れる講義も伺います。そして、日本民家園では、古民家巡りのあと、小杉ゆかりの旧原家の古民家カフェで一服。最終回は、21世紀の武蔵小杉のまちづくりを担う住民の皆さんの意欲的な取組を伺いながら、参加者とともにまちづくりへの思いを語り合います。

10月4日(金)～11月29日(金)
10:30～12:00 計5回
受講料4,480円 定員50名

終活ジャーナリスト

ライフ・ターミナル・ネットワーク代表
金子 稚子 ほか

シニアライフの問題解決講座

シニアライフを安心して過ごすために、シニアライフにまつわる多様な課題やその対処法を学ぶ講座です。超高齢社会を迎え、自分にできること、家族にできること、そして社会ができることを改めて考え直してみよう。新たな生き方が見えてくる講座です。

10月23日(水)～11月27日(水)
10:30～12:00 計5回
受講料4,480円 定員50名

早稲田大学大学院教育学研究科教授
高橋 あつ子 ほか

大人の発達障がいへの理解と支援

発達障がいの理解については、社会的にまだ誤解されやすい状況があります。青年期・成人期の発達障がいについて、基本的な理解を深めるとともに、学校・職場・家庭での対応について学びます。

10月7日(月)～12月9日(月)
10:00～12:00 計5回
受講料5,300円 定員70名

会場：川崎市生涯学習プラザ 他

申込み：詳細を掲載の「かわさき市民アカデミー講座のご案内」パンフレットの受講申込書をご利用下さい。

(生涯学習プラザや各施設にあります)

ホームページからも申込みができます。http://npacademy.jp/ 申込み締切 8月23日(金)

問合せ：かわさき市民アカデミー TEL 044-733-5590(平日9:00～16:00)

主催 川崎市教育委員会 会場 川崎市生涯学習プラザ

社会人学級

受講者募集

中学校教育課程の「国語」「数学」をもう一度
学び直してみませんか？ 学びたいという気持ち
のある方、この機会に是非ご参加ください！

藤原 治子 先生

国語

18時30分～19時30分

【学習内容】

小説や評論、詩、短歌、俳句などを
読みながら言葉の面白さ、奥深さを
味わいましょう。

清水 謙二 先生

数学

19時40分～20時40分

【学習内容】

四則演算と文字式・方程式、図形
問題を中心に時々、パズルを通して
楽しく学びましょう。

1. 日 時 令和元年10月11日～令和2年2月28日
毎週金曜日(12月13日～1月10日は休講)計15回
2. 会 場 川崎市生涯学習プラザ2階 202会議室
3. 対 象 川崎市内在住、在勤、15歳以上
「国語」「数学」両方、またはどちらか1教科
4. 申込方法 TEL、FAX(名前、住所、電話番号、年代、受講教科)
5. 受講料 無料(資料代として1教科500円)
6. 定 員 各30名
7. 申込期間 8月20日(火)9時から
9月20日(金)まで(先着順)

■申込・問合せ

川崎市生涯学習財団 事業推進室 社会人学級担当
TEL 044-733-6626 (平日9:00～16:30)
FAX 044-733-6697